

ガジュマルの聲



＜教育目標＞
『豊かな未来を拓く
児童の育成』

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

小体連 頑張っ！

10月を迎え、朝夕の涼しさに秋の気配が感じられるようになりました。10月5日の朝は強い北風が吹き、一気に冷え込みました。寒暖差が大きいと、体調管理が難しくなります。衣服の調整等をして、子供たちが体調を崩さないよう、御配慮をよろしく願います。

10月5日（木）業間の時間に、5・6年生の本番での頑張りを祈念して、「小体連激励会」を開催しました。4年生が朝の時間に1～3年生の教室を回り、応援の練習をしてきました。4年生団長のN・K君の力強いエールにリードされ、1～3年生の元気な声援が体育館中に響き渡りました。心のこもった素晴らしい応援でした。5・6年生の心にも、1～4年生の思いがきっと届いたことでしょう。6年生のY・N君が、お礼の言葉の中で「できれば賞状をもらってきたい！」と宣言した姿、頼もしくてカッコよかったです。



この日の放課後、5・6年生の小体連練習は、いつも以上に熱が入っていました。小体連本番で、一人一人が「頑張った」と思える大会になることを願っています。



学校支援会議報告

9月27日（水）、PTA 役員や地域の有識者をお招きして、学校支援会議「ガジュマルの会」を開催しました。

学校からは、学校評価の結果や、子供達の頑張りの様子をお伝えしました。参加者からは次のような御発言がありました。

- ① 一人1台端末はどのように活用しているのか？
→授業中の調べ学習で活用したり、個人の基礎学習練習問題に取り組ませたりしている。
- ② 交通安全。裏通りで広がって歩いたり、交差点で飛び出したりする子供がいる。
→富江交番の平野さんからの御助言。「常に言い続けて、安全意識を定着させてほしい。」学校でも指導を続ける。
- ③ 昨年度よりもあいさつが良くなっている。
→複数の参加者からお褒めの言葉をいただき、子供たちの成長を改めて実感！
- ④ 夏休みが短くなったが、子供たちの様子はどうだったか。
→9月からの活動にスムーズに入れた。よい助走期間になった。しかし、9月末に息切れ気味の子供達も見られた。成果と課題について、しっかりと検証する。
- ⑤ 将来的な自立を考えたとき、「壁にぶつかって逃げる」子供が増えていないか。若者にも規律や忍耐力の低下を感じる。叱られることに慣れていない。
→10月28日に、『教育県長崎』振興大会が開催される。五島の子供たちに「タフな心を身に付ける」ことを目指したシンポジウムも行われる。ぜひ御参加いただきたい。

御参加いただいた皆様の御意見を、今後の学校経営に生かしてまいります。